

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNO.																				
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名	B-4		調査位置											北緯	36° 19' 50.0000"					
発注機関	栃木県栃木土木事務所			調査期間	2007-02-21 ~ 2007-02-21										東経	139° 49' 50.0000"				
調査業者名	主任技師			現場代理人											コア鑑定者	ボーリング責任者				
孔口標高	40.04 m	角度		方		地盤勾配		使用機種	試錐機										ハンマー 落下用具	
総掘進長	8.45 m							エンジン											ポンプ	

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m)	標準貫入試験					原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日	
											深度 (m)	10cmごとの打撃回数 (0, 10, 20)	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N	値					
38.49	1.55	1.55		シルト (M)	暗褐			最上部20cmは耕作土。植物根の混入が多い。腐植物が混入する。含水量は多い。深度が増すと含水量は更に多くなる。		02/21 1.50	0	1	1	1						
37.69	0.80	2.35		ローム (Lm)	淡茶褐			層相不均質。少量の砂が混入。中部以深は強風化しており、腐植物の混入が多い。含水・粘性大			0	1	0	0						
37.54	0.15	2.50		軽石 (Pm)	灰白			径1-3mmで強風化。含水極大。上部・下部は腐植物の混入多い。中部は細砂が多く混入している。含水量は多く、粘性は強い。			0	1	0	0						
36.29	1.25	3.75		有機質粘土 (CHO)	暗褐						1	1	1	3						
35.34	0.95	4.70		砂質シルト (MS)	緑灰			砂の薄層が介在し、概ね砂泥互層状を呈する。含水量は中程度。腐植物が混入。			1	1	1	3						
34.44	0.90	5.60		礫混り砂 (S-G)	暗灰			中砂が主体。径3-10mmの亜円礫角礫が混入。粘土の混入は無い。軽石片が散在し、下部では多い。			6	5	4	15						
31.59	2.85	8.45		シルト混り細砂 (FS-M)	暗灰			微細砂-細砂が主体。シルト分の混入が多い。含水量は多い。			7	7	9	23						
					中くらい						5.45	2	2	2	6					
											7.15	9	10	12	31					
											8.15				33					
											8.45	11	10	12	33					